

氏名： 足立 眞理子 (ADACHI Mariko)  
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系  
職名： 准教授  
学位： 修士 (経済学)  
専門分野： 国際経済学  
E-mail： adachi.mariko@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

グローバル化/ケア労働/アジア新興経済/ジェンダー/セーフティネット  
Globalization / care work / Emerging Economy in Asia / gender / safety net

#### ◆主要業績

総数 (7) 件

- ・「フェミニズム・ジェンダー分析と経済学の方法」『ジェンダー史学』2008年第4号 pp.63-68
- ・蝶番を外せーグローバルな源蓄と再生産の政治」『現代思想』2008年8月号 pp.166-171
- ・「グローバル資本主義と不自由賃労働ーマリア・ミースに寄せてー」『POSSE』2008年 Vol.2.pp.150-163
- ・The Genealogy of a Lost Trajectory of Thought: Rosa Luxemburg and the Continuous Process of Primitive Accumulation in World Capitalism.Paper for International Forum in Chuo Univ.2008.
- ・「モダンガールと香り」『VENUS』2008年 Vol.20.pp.35-43

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

1970年代以降の世界経済は、従来の古典的国際分業から新国際分業体制 (NIDL) に転換し、その特徴は、多国籍企業による生産の国際化、金融・情報の中心部 (グローバル・シティ) への集中・集積、雇用のフレキシビリティ化にあるといわれる。このような中で、1990年代以降、とりわけアジア経済危機以降に、国際労働力移動の女性化といわれる現象が起きている。これは、グローバル化の趨勢が、先進諸国における少子高齢化によるケア労働の需要と相俟って生成しているもので「再生産領域のグローバル化」として把握できる。日本では昨年からインドネシア、フィリピンからの介護・看護労働の施設受け入れが開始されているが、この現象はアジア域内において一層顕著になっており、従来の社会保障制度との関連を含めて現状分析を行っている。

In the world economy after the 1970s, it was converted into new international-division-of-labor organization (NIDL) from classical international division of labor.

It is said that the feature is in flexible-ization of internationalization of production by a multinational company, the concentration and accumulation to the central part (global city) of finance and information, and employment.

The phenomenon called feminization of the international migration of labor after an Asian economic crisis has especially occurred after the 1990s.

This is because the trend of globalization is generating conjointly with the demand of the care labor by the low birthrate and longevity in advanced nations.

This was named globalization of the reproduction domain.

In Japan, institution acceptance of care / nursing labor from Indonesia and the Philippines was started last year.

This phenomenon is much more remarkable in the area within Asia.

It is analyzing including relation with a social security system.

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

開発経済学の基礎論、国際経済学のジェンダー分析手法、およびアジアにおける再生産領域（ケア）に関わる実証研究方法

Basic theory of development economics and Feminist Economics.  
The gender analysis of international economics.  
The empirical study for reproductive domain (care economy) in Asia

## ◆研究計画

現在取り組んでいるのは、アジアにおける再生産領域（ケア・エコノミー）のグローバル化、ケア労働の国際移転（日本では昨年からはインドネシア、フィリピンからの介護。看護労働受け入れが開始）の現象である。このような現象が生み出された原因は、アジアの製造部門現業労働力は80%以上を若年女性が占め、主として需要側要因の結果として、女性労働力の移動（国内・国際）が喚起され、かつ先進諸国での少子高齢化によるケア労働の供給不足が生じていることにあり、現在の緊急課題となっている。2008年秋における、世界的な金融危機の発生は、アジアとりわけ中国・インドなどの新興経済諸国に影響を与えると共に、アジア諸地域の経済回復が重要事項となっている。今後は、グローバル金融危機以降のアジアの新しい段階を踏まえて分析をおこなうため、国際共同研究の可能性は非常に高い。

## ◆メッセージ

アジアという地域は、今後ますます政治的、経済的、そして文化てきにも重要性を増していきます。そのよう状況を理解し、かつより詳細に研究・分析し、認識する力を身につけることはたいへん大切なことです。とくに、そのような現象をジェンダーという要因を入れて見ていく事は、これまで付加し出会った事柄をより深く理解することの大きな転機を与えるものです。

Asian areas will increase importance -- political, economical and cultural.  
It is also important to understand such a situation, and to inquire and analyze in detail. Especially the analysis from the factor of gender for such a phenomenon is understanding the present more deeply.